

【 おおた教育ビジョン 】

理念：笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

- 基本方針1：持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成します。 【こども】 個別目標1， 2， 3
- 基本方針2：誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出します。 【学校・教師】個別目標4， 5， 6
- 基本方針3：すべての区民が未来を担うこどもを育て、ともに学び続けます。【家庭・地域】個別目標7



【 学校教育目標 】

- よく考える子 *主体的に取り組む姿勢、論理的に深く考える力を身に付け、豊かに表現できる児童を育てる。
*学力の基礎・基本を確実に身に付けるとともに、既習事項や経験を生かして物事を発展的に考える児童を育てる。
- ◎思いやりのある子 *自己肯定感をもつとともに、他者を尊重する豊かな心を持ち、人にやさしくできる児童を育てる。
*異年齢、異文化等、自分以外の価値観を認め合って仲良くできる児童を育てる。
- 明るくじょうぶな子 *心身ともに健康であることを目指し、目標をもってすすんで運動に取り組む児童を育てる。



目指す学校像

「明日も行こう」と思える楽しい学校「分かった！できた！一緒に頑張れた！」

- ◇授業が楽しい：分かる授業・学習意欲がわく工夫された授業
- ◇運動が楽しい：「できた！」の実感がもてる授業・遊びの要素から技能の習得
- ◇学校での生活が楽しい：良好な人間関係・やりがいのある活動・認められる自分

【目指す教職員】

児童・保護者・地域から信頼され、やる気とやりがいをもって児童の教育を行う教職員

【目指す環境・施設】

安全で使いやすく、整然と整った環境・施設

【学校全体】

児童も教職員も凡事徹底（当たり前のことを徹底に行う）することで、大きな問題や服務事故の起きない落ち着いた学校

学校経営目標

【基本方針1】 **個別目標1**: 予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成

【基本方針2】 **個別目標4**: 学校力・教師力の向上

- ① 令和6・7年度 大田区教育委員会教育研究推進校の取組（不登校対策・不登校未然防止）令和8年1月30日（金）研究発表会
⇒算数科・体育科・特別活動での実践「分かった！できた！一緒に頑張れた！」をキーワードに
- ② 区独自教科「おおたの未来づくり」の実施による STEAM 教育の推進
⇒令和7年度実施 5・6学年を対象とし、児童が実社会で活躍する方々と共に、地域の特色を生かして創造し探究しながら、「ものづくり」や「地域創生」にチャレンジする。
- ③ タブレット端末等の活用⇒月に10日以上活用し、情報活用能力の育成を図る。分かりやすい授業を展開し、学力向上を目指す。
- ④ キャリアパスポート等の効果的な活用⇒「目標設定・実践・振り返り」のプロセスの記録し、新たな目標に向かってチャレンジする力を育成する。

個別目標2: 世界とつながる国際都市おおたを担う人材の育成

- ① 環境教育の推進⇒エコキャップ回収活動を継続し、区独自教科「おおたの未来づくり」と連携していく。
- ② 道徳教育・人権教育の推進⇒日々の学校生活や年間35時間の授業から、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。他者の人権を尊重する人権教育を推進する。（人権教育資料や人権啓発作品展の活用）
- ③ 英語授業の充実⇒児童が英語を用いてコミュニケーションを図る。タブレットを活用し、英語4技能を習熟する。

個別目標3: 一人一人が個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発と実践⇒充実した学校生活が送れるように、児童に啓発し保護者に実践の協力を仰ぐ。
- ② 体育学習の充実⇒目標を決め振り返る時間を設定したり、めあてカードや体育ノートを用いて継続的に指導したりすることで、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせ体力を向上させる。「体育嫌い」を作らないために指導方法を工夫する。
- ③ 体力の向上⇒短縄跳びや持久走、朝の「フリー・ジョイ・ランニング」等、目標を立てて粘り強く取り組める内容を実践させる。

【基本方針2】 **個別目標5**: 自分らしくいきいきと生きるための学びの支援

- ① サポートルームの充実⇒啓発集会の取組を通して、学校全体でサポートルームについての理解を深める。また、校内OJT組織を活用して、より良い児童指導に向けての力を高める。
- ② いじめ対応、不登校への支援の徹底⇒校内の対策委員会を定期的に（必要時は迅速に）開催し、組織的に対応を行う。また、毎週行う生活指導夕会を活用し、児童の変化を見逃さない風土を醸成する。

【基本方針3】 **個別目標7**: 学校・家庭・地域の連携・協働による、地域コミュニティの核としての学校づくり

- ① 学校ホームページの充実⇒学校の様子を保護者や地域に広く公開するために、週に3回更新しホームページを充実させる。
- ② 「チームおなづか」で児童を育てる⇒全教職員・保護者・地域全体で全児童を育成する。令和7年度より、コミュニティ・スクールに